

筑波大学 情報学群 情報メディア創成学類

平成 29 年度 私費外国人留学生入試

## 小論文問題

### 【注意事項】

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
2. この問題冊子は全部で7ページ（表紙と白紙を除く）です。
3. 解答用紙は600字詰めマス目紙2枚（下書き用紙付）です。
4. 解答用紙と下書き用紙の定められた欄に、「学群・学類」、「氏名」、「受験番号」を記入しなさい。
5. 問1と問2の解答は別々の解答用紙に書き、解答用紙上部の 



 欄に解答する問題番号を記入しなさい。

## 問題

次の文章は、カーニハンの著書「デジタル作法」の第5章から抜き出し、改変したものです。これを読み、次の問いに答えなさい。

問1 文章の内容を 400 字程度の日本語で要約しなさい。

問2 文章の内容を踏まえた上で、これからのプログラミングはどのように変化していくか、できるだけ具体的にあなたの考えを 600 字以内の日本語で述べなさい。

### 第5章 プログラミングとプログラミング言語

プログラマーは、コンピュータのハードウェアとソフトウェアの両方を理解し、その両方を活用して、コンピュータの動作を制御する。ハードウェアは、コンピュータの物理的な部分であり、ソフトウェアは、コンピュータの動作を制御するためのプログラムである。ハードウェアとソフトウェアの両方を理解し、その両方を活用して、コンピュータの動作を制御する。ハードウェアは、コンピュータの物理的な部分であり、ソフトウェアは、コンピュータの動作を制御するためのプログラムである。

ハードウェアとソフトウェアの両方を理解し、その両方を活用して、コンピュータの動作を制御する。ハードウェアは、コンピュータの物理的な部分であり、ソフトウェアは、コンピュータの動作を制御するためのプログラムである。ハードウェアとソフトウェアの両方を理解し、その両方を活用して、コンピュータの動作を制御する。ハードウェアは、コンピュータの物理的な部分であり、ソフトウェアは、コンピュータの動作を制御するためのプログラムである。

ハードウェアとソフトウェアの両方を理解し、その両方を活用して、コンピュータの動作を制御する。ハードウェアは、コンピュータの物理的な部分であり、ソフトウェアは、コンピュータの動作を制御するためのプログラムである。ハードウェアとソフトウェアの両方を理解し、その両方を活用して、コンピュータの動作を制御する。ハードウェアは、コンピュータの物理的な部分であり、ソフトウェアは、コンピュータの動作を制御するためのプログラムである。

#### 5.1 プログラミング言語

プログラミング言語は、コンピュータの動作を制御するためのプログラムを書くための言語である。プログラミング言語は、コンピュータの動作を制御するためのプログラムを書くための言語である。プログラミング言語は、コンピュータの動作を制御するためのプログラムを書くための言語である。プログラミング言語は、コンピュータの動作を制御するためのプログラムを書くための言語である。

プログラミング言語は、コンピュータの動作を制御するためのプログラムを書くための言語である。プログラミング言語は、コンピュータの動作を制御するためのプログラムを書くための言語である。プログラミング言語は、コンピュータの動作を制御するためのプログラムを書くための言語である。プログラミング言語は、コンピュータの動作を制御するためのプログラムを書くための言語である。



[illegible][illegible]

© 2005 年 12 月 10 日 星期五 第 10 卷 第 12 期 总第 120 期

[illegible]

【例題】次の文章を読んで、下の問いに答えなさい。

[illegible]





94799, 94874-5, 94888

[illegible]

「Brian W. Kernighan 著(久野靖 訳)、デジタル作法、オーム社、2013」から一部改変の上、引用

「Brian W. Kernighan 著(久野靖 訳)、デジタル作法、オーム社、2013」から一部改変の上、引用

「Brian W. Kernighan 著(久野靖 訳)、デジタル作法、オーム社、2013」から一部改変の上、引用

「Brian W. Kernighan 著(久野靖 訳)、デジタル作法、オーム社、2013」から一部改変の上、引用

「Brian W. Kernighan 著(久野靖 訳)、デジタル作法、オーム社、2013」から一部改変の上、引用

「Brian W. Kernighan 著(久野靖 訳)、デジタル作法、オーム社、2013」から一部改変の上、引用

「Brian W. Kernighan 著(久野靖 訳)、デジタル作法、オーム社、2013」から一部改変の上、引用

「Brian W. Kernighan 著(久野靖 訳)、デジタル作法、オーム社、2013」から一部改変の上、引用